

## 【家庭教育支援チーム】

チーム名 (呼称)	国分寺市家庭教育支援チーム (呼称)「プレイセンター・ピカソ」 URL: <a href="http://www.geocities.jp/pica_beans/">http://www.geocities.jp/pica_beans/</a>
活動開始 年度	2002(平成14)年度
活動拠点	国分寺野中神明宮共益公会堂
活動範囲	市内全域及び、近隣の市
活動財源	<input type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(地域における家庭教育支援総合推進事業) <input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(先駆的家庭教育支援推進事業) <input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名 ) <input type="checkbox"/> 地方単独事業として実施 <input type="checkbox"/> 特段の予算措置はないが、自主的に活動を実施 <input checked="" type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 (主に自主財源/会費によって…1部社会福祉協議会の助成 )
組織体制	_____ スーパーバイザー 4人 (他に卒業生によるサポーターや、ボランティア8人くらい)
具体的な 活動内容	<input type="checkbox"/> 講座型 <input type="checkbox"/> 拠点型 <input type="checkbox"/> 訪問型 <input checked="" type="checkbox"/> 総合型 <input type="checkbox"/> その他( )  「家族が一緒に成長する」がプレイセンターのモットーです。 子どもは生き生きと遊ぶことで自己肯定感が育ちます。親は共同保育を通したくましさを身に着け、助け合うことで不安から解放され、楽しんで子育てしています。  ・親が自主運営するセッション(週2回) 会場設営や子どもの遊び相手、備品の管理、見学者や新入会員へのサポート、HP 管理、お便りの発行、会計、セッションやイベントのアイデア、名簿など印刷物の作成、学習の記録、掃除、日誌、会場確保など運営に関することを参加者がする。やれる人ができる時にするエマージェンタリーダーシップを学ぶ。 ・セッションは子どもが遊びを選べるように多種用意する。(室内、屋外) ・これらが可能になるための学習会(月2回) ニュージーランド生まれのプレイセンターを理解するためのテキストがある。 一方通行の講義ではなく、セッションで起こる子どもの様子などをテーマに話し合い、コンセンサスを作り上げる。

## 活動の 成果

ニュージーランドではプレイセンターを生涯学習として捉えている。学習会の学びだけでなく、セッションの運営という実習の中で、子どもの観察をしながら子どもに対する理解を深める。また運営する仲間同士、親子ともに親密になり、生涯の友を得られる。親になりたての人も安心できる共同保育のおかげで、精神的なゆとりができ、子育てを楽しむことができるようになる。







<b>活動において苦勞した点や課題</b>	<p>私たちの活動場所は外遊びもでき広さも申し分ないが、駐車場代も入れて年間会場費が約 25 万円かかる。約 20 家庭登録があり、月会費1500円でやっているが、3 月には毎年半数が卒業するため、赤字の年もある。公的な施設は制限があり、毎週の活動は難しい。調布市、恵庭市、鶴岡市、山形市などでは市の子育て支援の施策の中にプレイセンターを取り入れることで、運営が安定している。多くの自治体がプレイセンターに目を向けてほしい。</p>
<b>今後の活動目標</b>	<p>ピカソ出身の人が 3 人スーパーバイザーの資格を取って運営の中心になってくれている。その他にも、学習会時の保育要員になってくれたり、畑の管理やイベントのサポートなどを卒業生が担ってくれたりしている。卒業してからも親子がつながり続けていき、大家族のような力強い関係を構築していきたい。</p>
<b>問合せ先</b>	<p>スーパーバイザー 足立隆子(NPO 法人日本プレイセンター協会理事)  (TEL) 090-1771-7431 (E-mail) <a href="mailto:pica_beans@yahoo.co.jp">pica_beans@yahoo.co.jp</a></p>